

橘ときわっ子

学校だより 第6号
平成28年5月30日
武雄市立橘小学校
校長 稲富博茂



学校教育目標 「生きる力を身に付け、地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成」
やればできる 磨けば光る 一歩でも前進 続けて 続けて

気温が30度近くまで上がる日が続き、日中は暑さを感じるようになりました。1・2年生が4月の終わりに植えた野菜の苗が大きくなり実をつけ、昼休みに子どもたちが汗を流して遊んでいる姿を見ると、夏の到来を告げられているかのようです。

育友会活動として、土曜開校日の28日(土)には、午後から3年生と5年生の親子ふれあい活動が体育館で行われました。子どもたちは、楽しい時間を過ごすことができ、たいへん喜んでいました。保護者様には、計画・準備から当日のお世話まで、ありがとうございます。今後、他の学年も計画をされています。どうぞ、よろしく願いたします。

花まるタイム・授業参観 5/28(土)

土曜開校日に花まるタイムと授業の参観を行いました。お忙しい中に、たくさんの方においでいただき、ありがとうございました。1年生は入学して、2～6年生は進級して約2ヶ月が経ちました。話の聞き方、ノートやプリントへの書き方、自分の考えを進んで発表しようとする意欲など、子どもたちの学習の様子から、成長している姿をご覧いただけただでしょうか。



修学旅行 5/19(木)・20(金)

修学旅行を、1～5年生は19日、6年生は19・20日に行いました。見学地では、実際に見たり調べたりするなど、いろいろなことを体験できました。天気にも恵まれて、楽しい思い出もたくさんできたことと思います。6年生は、長崎の様々な歴史や文化、原爆による甚大な被害、平和の尊さなど、貴重なことを学びました。



【6年：平和集会】

田んぼの学校「塩水選」「開校式」「種まき」

5年生が、「田んぼの学校」の取り組みを始めました。23日は、「塩水選」を行い、子どもたちは塩水選の必要性や塩水の濃度の判断の仕方、種もみの選別方法などの説明を聞き、実際に塩水選を体験しました。また、おいしい米づくりの第一歩は、良い種もみ選びから始まることを学びました。

28日は、「開校式」と「種まき」を行いました。開校式には、区長会、JA武雄支所、育友会、保護者など多くの方に参加をしていただきました。一人一人が田んぼの学校での「めあて」を発表したり、田んぼの学校の歌を合唱したりしました。開校式終了後はJAの山口様に指導をしていただき、「種まき」を行いました。地域や育友会、保護者の方の協力も受けて、子どもたちは熱心に取り組みました。準備から後片付けまで、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。お礼を申し上げます。

田んぼの学校は、米づくりを通して、農業や自然環境の大切さ、地域の歴史や文化を学ぶことを目的として、5年生を対象に取り組んでいるもので、今年で16年目となります。6月24日(金)には、田植えを予定しています。

